

## 令和4年度新潟県原子力防災訓練に関する

### ご質問に対する回答

#### 三井田委員からのご質問

1、訓練の中身があまり変わらないことが一番問題だと思っている。課題、改善点が見つかったのを少しでも解消して次につなげていかないと精度が上がっていかないとと思うが、異動に伴い担当者を変更すると練度が下がって、低い練度から上げるというようなことがあるのか。引き継ぎ、教育の方法、方策をどのようにとっているのか。

#### 回答

- ・担当者の変更があった場合も、書面による引き継ぎを遺漏なく行う体制を取っており、練度が下がることはないと考えております。
- ・訓練の際は担当部局以外にも参加を要請して庁内全体で訓練を行っているため、担当部局以外の職員も避難の流れを理解しております。
- ・研修等は必要に応じて適宜受講していますが、現状、全職員が受講するといったものではありません。担当者以外の職員においても原子力防災に関する知識を深めることは大切なことですので、職員向けの原子力防災リーダー研修実施など、担当者以外の職員が原子力防災について学ぶ機会を増やすことができるよう努めたいと考えております。

2、引き渡しの際に段取りがうまくいかなかったり混雑して時間がかかり過ぎとなった時に、どこかで時間制限をして受付や引き渡しをやめて避難にかかるというようなタイムリミットを想定しているか。

#### 回答

- ・学校等の引渡しは、施設敷地緊急事態(SE)になった場合に、引渡しを中止して避難を行うこととしております。

3、避難訓練参加者のみの意見抽出ではあまりイノベーションが起きないと思うので、訓練の精度を上げ、安全性を高めるためにいろいろな人たちから意見を公募できるよう間口を広げた方がよいと思う。現状、また今後の対応をどう考えているか。

#### 回答

- ・アンケートは県と合同で、訓練参加者のみを対象として実施しております。
- ・このほか、事務嘱託員会議(地区の代表が集まる会議)において訓練について説明する際に、ご意見をいただく機会を設けております。